

事前評価調書

I 事業概要																																																																
事業名	道路事業（道路改良事業）																																																															
地区名	一般県道松平志賀中金線（幸海・井の表工区）																																																															
事業箇所	愛知県豊田市穂積町～幸海町																																																															
事業のあらまし	<p>一般県道松平志賀中金線は、豊田市穂積町から幸海町に至る延長 10.4km の路線であり、国道 153 号や国道 301 号等と接続しており、地域の暮らしを支える重要な路線である。</p> <p>当該事業区間は、線形が不良なため見通しが悪く、隘路区間であり、車両のすれ違いが困難であることから、円滑な交通の妨げとなっている。また、沿線の幸海小学校の通学路に指定され、児童等の歩行者を含めた交通安全の面でも課題となっている。</p> <p>このため、「人の交流を支え地域を活性化する基盤整備」、「交通安全対策の強化」を主な目的として、当地域の交通の円滑化及び歩行者等の安全確保を図るため、一般県道松平志賀中金線の現道拡幅事業を実施するものである。</p>																																																															
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備</p> <p>(2) 交通安全対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																																																															
事業費	事業費	内訳																																																														
	6.0 億円	■工事費 4.5 億円、■用補費 1.0 億円、■その他 0.5 億円																																																														
事業期間	採択予定年度	平成 28 年度	着工予定年度	平成 28 年度	完成予定年度	平成 37 年度																																																										
事業内容	現道拡幅（延長：L=0.85km、車線数：2 車線（2/2）、幅員：W=7.0～9.3m）																																																															
II 評価																																																																
①事業の必要性	1) 必要性	<p>(1) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・線形が不良なため見通しが悪く、隘路区間であり、車両のすれ違いが困難であることから、円滑な交通の確保が必要である。 ・交通量は 2,071 台/日、混雑度は 0.25 となっている。（H22 道路交通センサス結果） <p>(2) 交通安全対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幸海小学校の通学路に指定されていることから、児童等の歩行者の安全確保の観点からも歩道整備が必要である。 																																																														
	判定	A	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の円滑化及び安全性の確保のため事業実施の必要性がある。 																																																													
②事業の実効性	1) 事業計画	<p>【事業計画】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th colspan="2"></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> <th>H36</th> <th>H37</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">工 種 区 分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="5">4.0</td> <td colspan="5">2.0</td> </tr> </tbody> </table>							H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	工 種 区 分	調査・設計	←→										用地補償		←→									工事			←							→	事業費（億円）		4.0					2.0				
			H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37																																																				
	工 種 区 分	調査・設計	←→																																																													
		用地補償		←→																																																												
工事				←							→																																																					
事業費（億円）		4.0					2.0																																																									
2) 地元の合意形成	<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治体より早期整備の要望を受けている。 ・地元住民に対し事業説明会を開催し、合意形成を図っている。 																																																															
判定	A	<p>A：事業計画の実効性が期待できる。</p> <p>B：事業計画の実効性が期待できない。</p>																																																														

		【理由】 ・円滑な事業環境が整っており、計画の実行性が確保されている。
Ⅲ 対応方針		
事業実施が 妥当である	事業実施が妥当である。：上記①～②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。	
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容		
■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 ー 【主な評価内容】 交通量(全車、大型車)、旅行速度、混雑度、安全性の改善状況		